

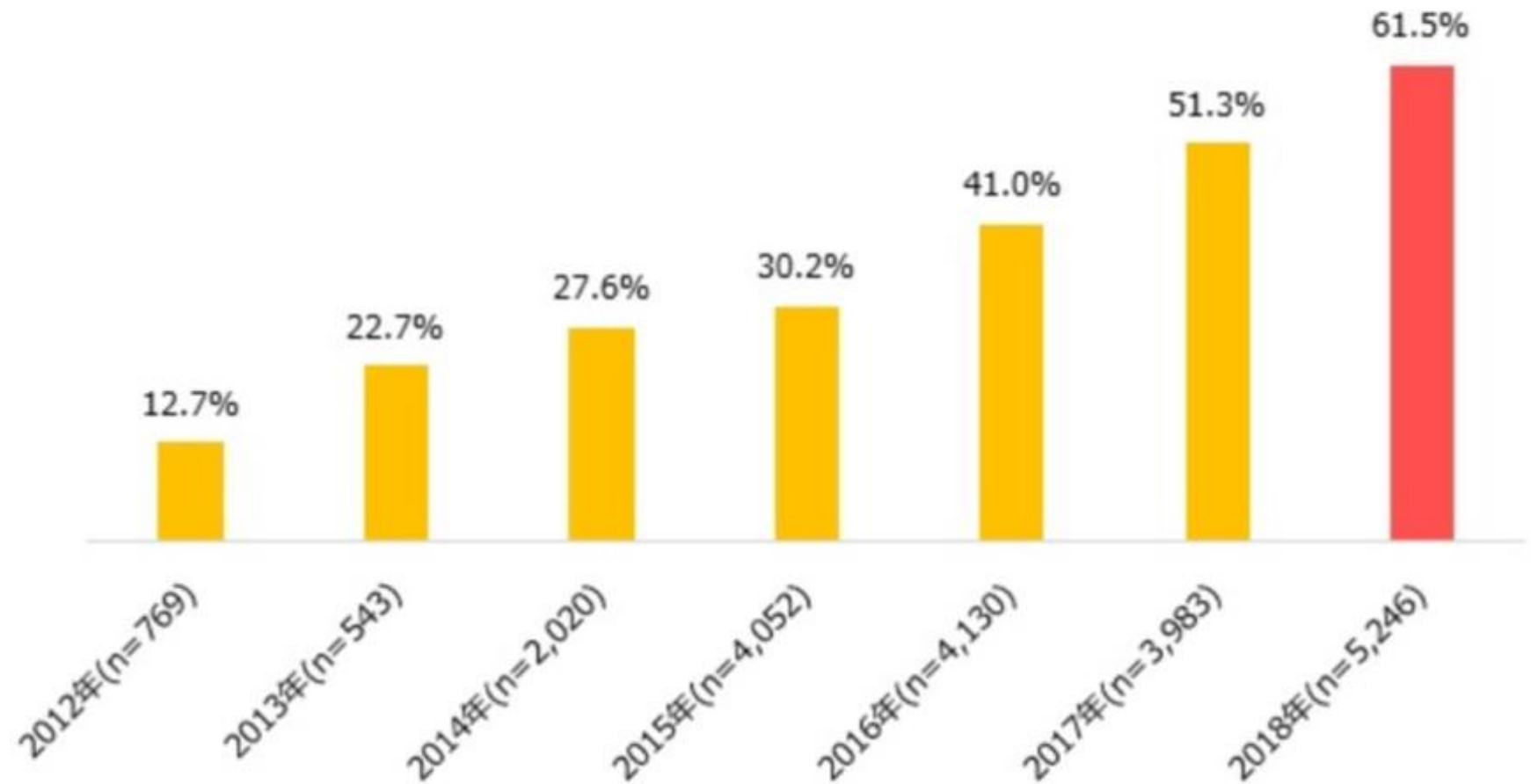
シニアこそ スマートフォンの活用を！

基礎から応用まで

岩本哲夫

シニアのスマートフォン利用者

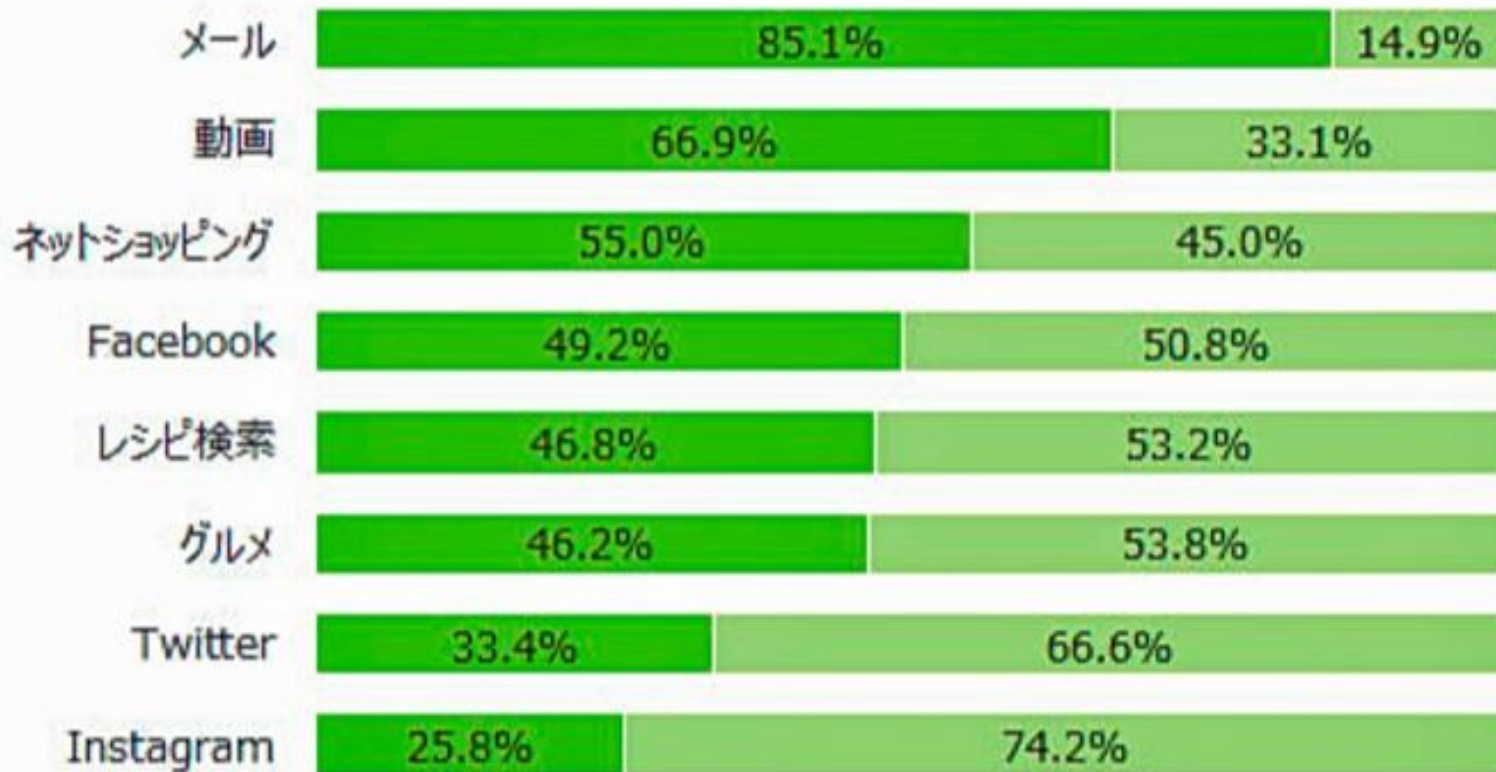
● シニアの携帯電話所有者の内、スマートフォン利用者



MMD研究所調べ

シニアが利用しているサービス

● シニアが利用しているサービス ※iPhoneユーザー (n=329)



■ 利用している ■ 利用していない

シニアの不安

- 子供や孫が遠くにいるので疎遠になる
- いまや公的な情報がホームページで提供され、施設利用ですらウェブ予約、キャッシュレスと大騒ぎ
- 足腰が弱ってくる上に、運転免許返納が求められ、街に出ても乗り換えや道がわからなくなる不安がある
 - ◆ 調味料や水、トイレトペーパー等の買い物はどうする？
- ガラケイは近い将来(2020年代なかば)には使えなくなる
- スマートフォンは使いこなせるのか？ 費用がかかるのでは？

シニアこそ、スマートフォンが命綱になる

シニアとスマートフォン

- 電話は**テレビ電話**にもなる
 - ◆ 遠く離れた子供や孫との良好なコミュニケーション
- メールは**添付ファイル**もでき、**文字数制限なし**
- 分からないことや忘れたことを簡単に調べられる
 - ◆ 文字入力なしに**音声でも**簡単に調べられる

シニアとスマートフォン

- 外出時にはスマートフォンだけでOK
 - ◆ 天気のチェックは、1時間ごとの**天気予報**と**雨雲レーダ**で
 - ◆ 電車・バスの経路と時間(乗り換え時間)等の調べ物は、**乗換案内**で
 - ◆ 電車・バスの切符は、スマートフォンの**スイカ**で
 - ◆ 駅から目的地までは、音声ガイド付きの**道案内**で
 - ◆ 思い出の記録は、**写真**や**動画**で
 - ◆ コンビニでの買い物は、**キャッシュレス**で
 - ◆ 外人さんとの会話は、**翻訳**で
- 車がなくても重たい買い物ができる**ネットショッピング**
 - ◆ コンビニで**プリペイドカード**を買ってチャージして買い物
 - ◆ ネット用のクレジットカードと利用チェックは頻繁に

シニアとスマートフォン

スマートフォンを使ったデモ

今後スマートフォンを 使わなければ

- ガラケーがなくなると携帯電話が使えなくなる
- キャッシュレスの時代には、買い物、タクシー配車、旅行、銀行等決済の日常生活が困難になる(生活弱者になる)
- サークル、同期会等のコミュニティの参加が難しくなる
- 必要な情報が入らなくなる

スマートフォンを使うには

- 1日も早く、スマートフォンを購入して使い方に慣れる
 - ◆ 格安スマホで、最新の使いやすいもの
 - ◆ シニア向けの使い方等のサポートがあるもの
 - ◆ 初期設定はスマートフォンをよく知っている人にしてもらう
- まずは、子供や孫とのTV電話(LINE)、メール、調べ物の利用、スケジュール、乗換案内、地図(道案内)、天気予報(雨雲レーダ)、radikoから始める
- 好奇心をもって多くのアプリを使ってみる
 - ◆ 知人等に面白くて有用なアプリを聞く
 - ◆ 何度も同じことを練習する(3回以上は使ってみる)

スマートフォンの課題

- 使い方がわからない、トラブルに備えて相談できるところ・人(配偶者や子供以外)をみつけて、何度でも相談する(トラブルの起きにくい初期設定をするのが重要)
 - ◆ サポートのある機種・販売店
 - ◆ 生涯学習推進センターのボランティアIT相談
 - ◆ 松が丘Yuiの有償ボランティアサービス(予定)
- セキュリティについては、常に関心を持っておく
 - ◆ ヤマト宅急便の偽メール等
- 紛失、故障にそなえ、データのバックアップは必ずしておく
 - ◆ 新しい携帯は簡単に購入できるが、データがなくなると被害が甚大

シニアこそスマートフォンを活用

- スマートフォンを利用した生活サービス(キャッシュレス、タクシー配車など)の恩恵が受けられない
- 免許返納で重たいものの買い物が困難になる
- 子供や孫は遠く離れて住んでいる
- 調べ物をするのに時間がかかる
- 街に出ると迷ってしまう
- 人とのコミュニケーションが少なくなる

これらの問題に対してスマートフォンは**命綱**になる

シニアこそスマートフォンを活用

- 社会的な繋がりネットワークサービス
 - ◆ **Facebook**: 自己紹介や日記を書いて、それに対してコメントをもらうといういわゆる元祖SNSの世界標準
実名制であることに加えて顔写真を掲載しているユーザーも多いことから、ビジネス面での利用
 - ◆ **LINE**: スタンプと呼ばれるユニークな画像を使ったチャット機能(トークと呼ばれる)が特徴・TV電話もできる
家族や友人といった比較的親しい間柄でのコミュニケーションに利用
 - ◆ **Instagram**: 通称インスタとも呼ばれる写真を中心としたSNS
 - ◆ **Twitter**: ツイート(つぶやき)と呼ばれる140文字の短文を投稿することで気軽な人間関係を築けるサービス
他人のつぶやきをコピー・転載できるリツイートという機能があり、情報がねずみ算式に広まる(拡散)

シニア世代はFacebookを好む

- 50～70代の26%がFacebookを使っていて、2位はTwitter14.2%
- 実名と勤務先や出身学校などを登録すること、また、写真で顔が見えることで、安心して利用できる
- シニア世代はもちろん写真も大切ですが、やはり文字を使って自分の状況や思いを語りたい、知らせたいという思いが強い
- シニアの場合は、記録性を求めます。その事柄とのかかわり、それへの思い、関連する知識や経験(つまり蘊蓄)などを語る一種の自己表現手段として利用

私もFacebookをメインに利用

90歳の「インスタおばあちゃん」



シニア向けスマートフォン

- 月額料金が安いこと
- ホーム画面が必要最小限に絞れ、文字が大きくて使いやすいこと
- 操作がわからない時やトラブル時にもサポートが受けられること

TSUTAYAのスマホTONEが一つの候補
(動画利用やスマートフォンを使いこなしている人には向かない)

https://www.youtube.com/watch?time_continue=107&v=bC4oPfsxNA

まとめ

- 1日も早く、シニア向けのスマートフォンを購入して使い方に慣れる
- 初期設定はスマートフォンをよく分かっている人にしてもらう
- 使い方がわからない、トラブルに備えて相談できるところ・人を見つけて、何度も利用する
- 最初は音声操作で、LINE、ネット検索、ネットショッピング。慣れてくると好奇心をもって多くのアプリを使ってみる